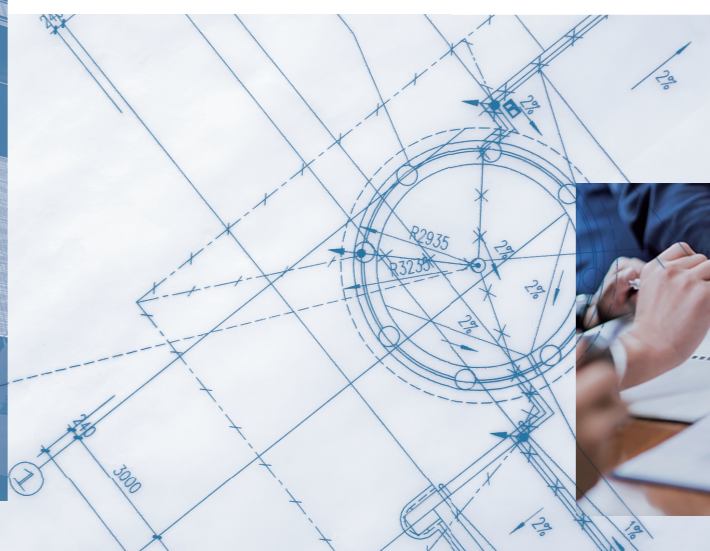
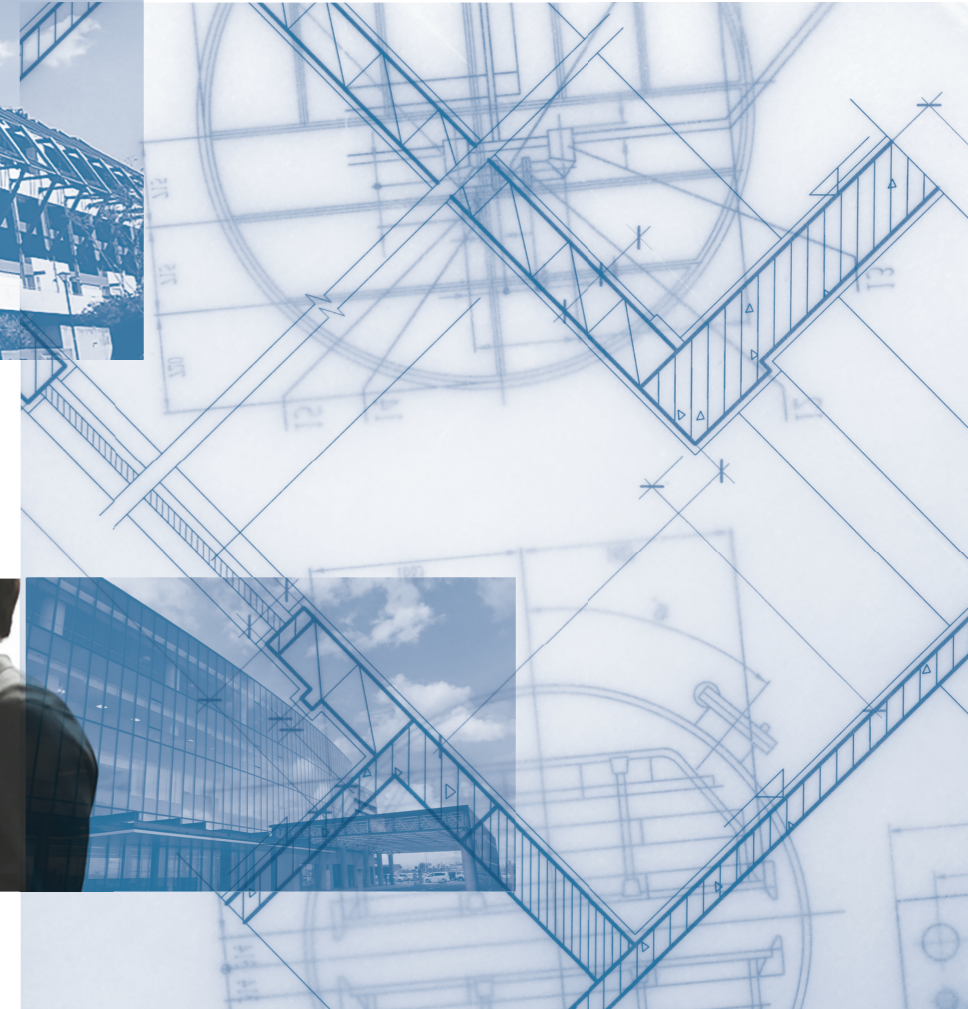
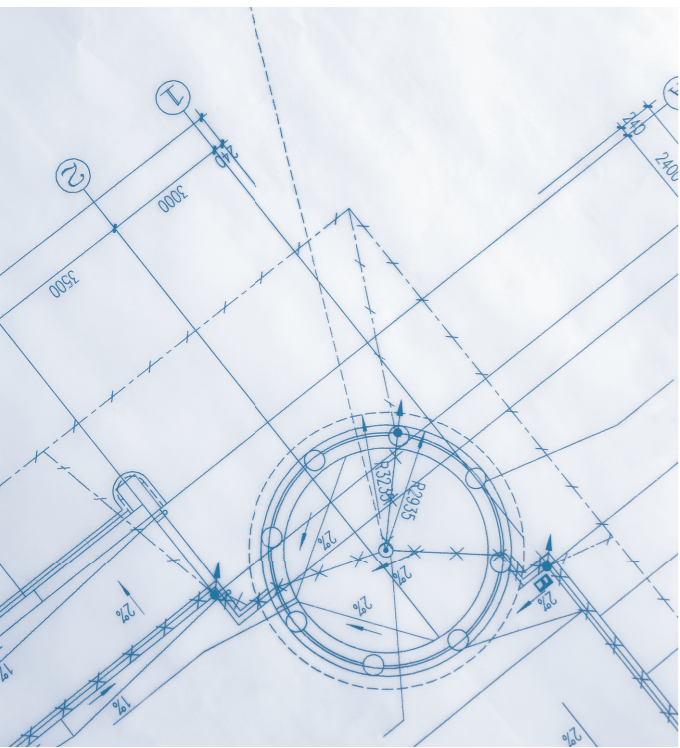




IKESHITA
SEKKEI
COMPANY PROFILE



多角的なDX戦略で目指す——“総合設計”の池下



建設業界を取り巻く環境は、社会情勢に伴い常に変化をしています。昨今では、生産性向上や働き方改革が大きな課題として取り上げられていますが、池下設計の軸となる生産設計の業務は、建設業界の生産性向上に重要な役割を果たすと考えております。

生産設計は、設計者の設計意図を汲み取りつつ、施工者の技術的視点から品質・コスト・工程や施工上の問題点を検討し、膨大な情報を施工図に反映し工事に携わる人たちに伝える建築の基幹を担う重要な業務です。弊社では1973年の創業以来約50年にわたり、建築生産設計に特化し、設計やIT技術を蓄積してまいりました。その技術を提供することで、建設業界に大きく貢献できると考えております。

私が社長に就任した2011年より一貫して変わらぬ想いは、「人を大事にする」ということです。そのためにDX(デジタルトランスフォーメーション)による社内の情報共有や働き方改革等の業務改善を積極的に推進しております。全従業員へ携帯端末やタブレットを配布、そしてクラウドサービスを導入し、働き方を見える化し社内コミュニケーションを活性化、変化していく環境に合わせた自由な働き方促進、私への直接提案制度導入等、従業員エンゲージメントを向上させ、企業力をこれまで以上に高めて企業理念を追求してまいります。

これまで軸としていた建築生産設計に留まらず、設備も含めた基本・実施設計の領域もこれまで以上に積極的に展開し、総合設計の池下を目指し邁進してまいります。今後とも倍旧のご厚情とご愛顧を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

株式会社 池下設計
代表取締役

池下 潤

1.企業理念

池下設計は多くの情報と知恵から生まれる技術とサービスで建造物に関わる全ての人々の満足を追求します

2.経営方針

「企業理念」の具現化に向けて、3つの経営方針を策定しています。

- ① 顧客満足度の最大化
企業が存続する為の必須要件である顧客(得意先)の視点に立ち、専門家として、高度な技術力とそれに甘えぬ自己研鑽、そして責任をもって行動する
- ② 社員満足度の最大化
企業が存続する為の必須要件である社員の視点に立ち、全社員の幸福と活力の為に、公平無私の精神で行動する
- ③ キャッシュフローの最大化
企業が存続する為の必須要件であるキャッシュフロー(利益)を確保し、磐石な企業であり続ける為に、一人ひとりがコスト意識をもって行動する

3.行動規範

社員が目指すべき人物像や考え方を明確にするものとして、5つの行動規範を定めています。

- ① 一人ひとりが会社の顔であることを自覚します
誠実さと責任感を持ち、信頼される人を目指して行動します
- ② すばやく対応します
期限を厳守するだけでなく、効率を追求します
- ③ 会社に関わる人々と協力します
人に関心を持ち、互いの個性と主張を交えながら協力し合います
- ④ 高い目標に挑戦します
持てる力を最大限に発揮した上で、現状に甘えず自己研鑽します
- ⑤ 未来の幸福を考えます
後に託される者が幸福になれる様に、考えて行動します

建設プロジェクトのあらゆるニーズにお応えする それが、池下設計の使命です

建築設計



生産設計の前段階にあたる建築設計は、意匠設計、構造設計、設備設計に分類できます。意匠設計は建造物の外観や内部空間のデザインなど、建造物の形態や機能を司るものです。構造設計は柱や梁など建造物の強度を決めるもので、建造物の「安全性」を支えます。そして、設備設計は水、空気、電気をコントロールするための設計で、建造物の「快適さ」を整備するものです。



最新のCAD技術を駆使する建築のスペシャリストを数多く擁する池下設計では、意匠・構造・設備を網羅した建築設計・監理業務の実績も豊富にあります。また、耐震診断・設計も自信を持ってご提供します。



建築設計から生産設計(施工図)、施工管理に至るまで、建設プロジェクトのあらゆるニーズにお応えする、それが池下設計の使命です。池下設計は、建築設計・生産設計(施工図)・施工管理のいずれの工程においても、断片的に業務に関わることはありません。課題を総合的に

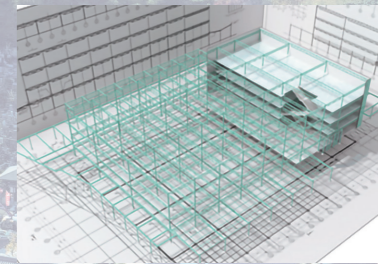
捉え、最も効果的な技術を提供することでプロジェクトの達成に貢献します。また、建築のスペシャリスト集団として、数多くの先進的なプロジェクトに参画し、技術力やノウハウを活かし、設計・監理はもとより、次代を切り開くさまざまな仕事に挑戦しています。

生産設計(施工図)



“匠の技”を極めた職人さんがいても、その技能を余すことなく100%発揮できるか否かは、生産設計(施工図)のクオリティーにかかっています。施工図とは、設計者が作成した設計図書をもとに、専門工業者が理解しやすいかたちに描き直した図面です。簡単に言えば、施工に携わるすべての方への“指示書”です。施工図の精度が悪ければ、腕利きの職人さんがどれだけ多く集まっても、素晴らしい建物は生まれません。

池下設計は1973年創業以来、施工図に特化した高い生産設計技術・ノウハウを蓄積し、業界のリーディングカンパニーとして多くの建造物の建築に貢献してきました。さらに、最新のCADやBIMによる3Dモデリングを積極活用し、絶えず進化を繰り返しています。建築・設備施工図、仮設計画図、総合図——。生産設計の根幹となるそれらの図面に、池下設計の歴史と思いを詰め込み、お客様に提供しています。



池下設計の代名詞 “匠の技”を100%引き出す施工図

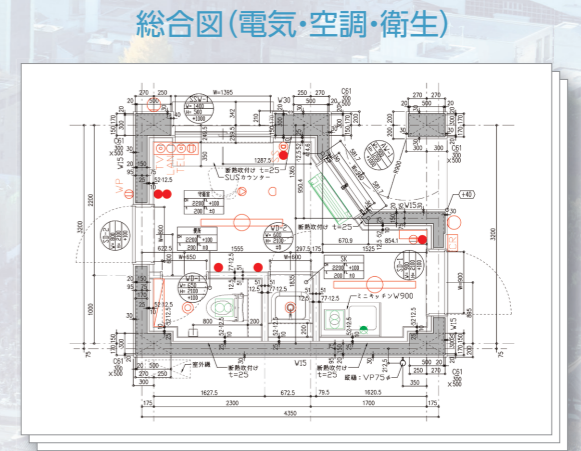
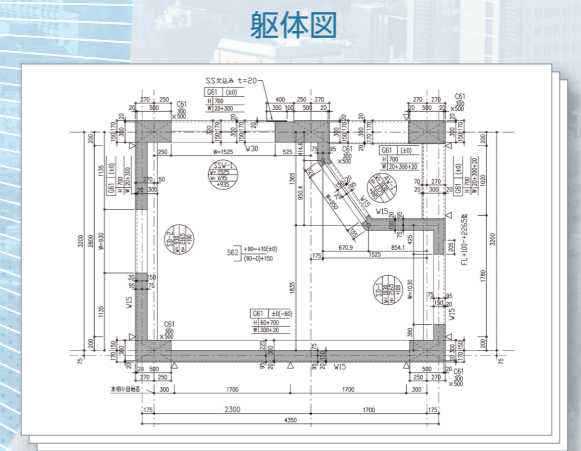
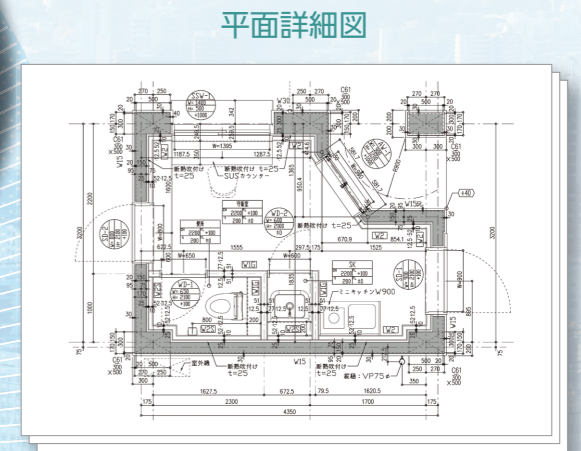
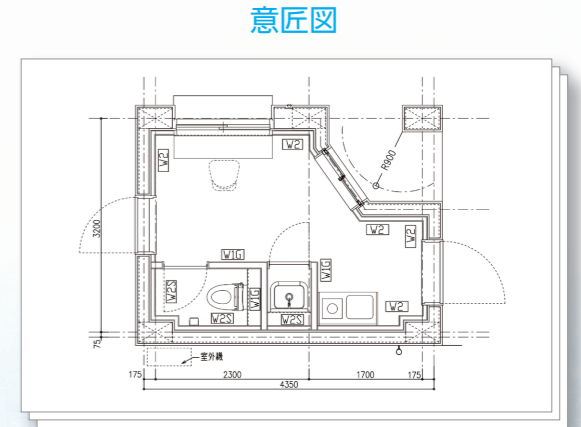
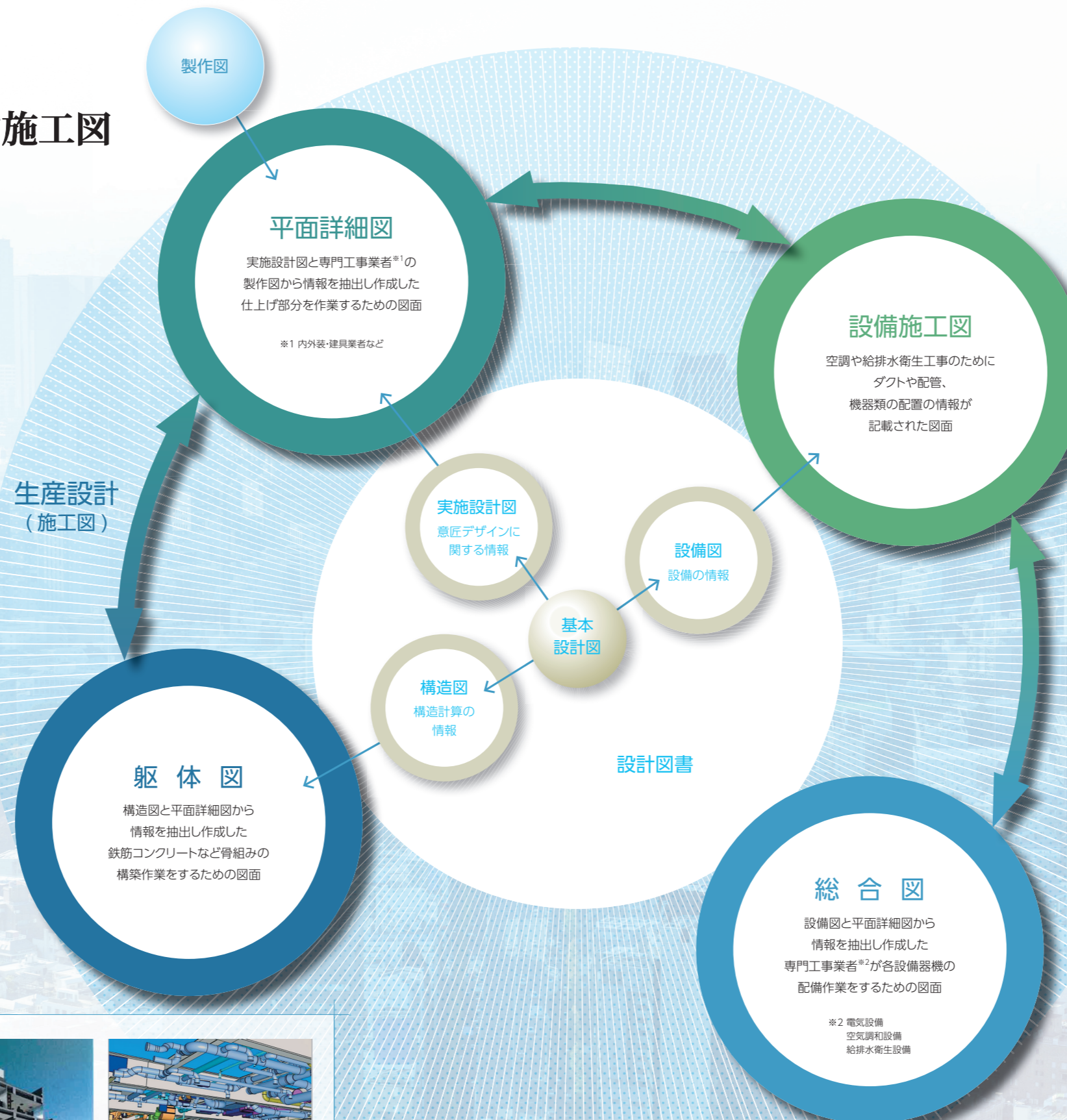
「施工図」とは簡単に言うと「現場で施工するために必要な図面」を指します。施工を行なう施工者（ゼネコン）は設計図書をベースに施工しますが、生産設計（施工図）は以下のために必要です。

1. 施工者が実際の施工にあたり、品質・コスト・環境・安全・工程等の検討を行なう。
2. 専門工事業者や職人への指示、情報共有を行なう。

プロジェクトの着工から竣工に至るまでの生産活動を円滑に進めていくために各種施工図が必要となってきます。

施工図とは、設計情報を読み取り、各工種・職種に対し必要情報をわかりやすく伝えるための翻訳書という位置付けで、設計図を基準に作成することが基本となっています。

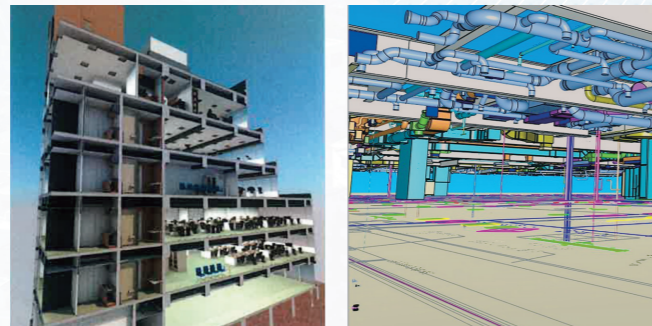
設計図書は建物の完成形を表し、生産設計（施工図）は完成形と各工事の施工の場面ごとに必要な情報を記載します。



column

BIMによる3Dモデリングの活用

ここ数年、2DCADに替わる新しい作図ツールとしてBIMのイノベーションが進んでおり、実用化されています。当社でもBIMの技術者を育成し、実際に設計図や施工図を作成した建物が完成しています。



※BIMとは「Building Information Modeling」の略 ※右画像:3D設備施工図

※凡例 赤色:電気設備 緑色:空調・給排水衛生設備